

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月21日

【評価実施概要】

事業所番号	2770102735		
法人名	社会福祉法人 朋和会		
事業所名	グループホーム年輪		
所在地	堺市南区御池台5-2-2 (電話)072-293-4800		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成20年1月17日	評価確定日	

【情報提供票より】(平成20年1月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成10年11月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8 人
職員数	12 人	常勤6人, 非常勤6人, 常勤換算8.3人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	2階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30000円	その他の経費(月額)	12,300円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000	円

(4) 利用者の概要(平成20年1月1日現在)

利用者人数	8名	男性	0名	女性	8名	
要介護1	2	要介護2	0			
要介護3	5	要介護4	1			
要介護5	0	要支援2	0			
年齢	平均	86歳	最低	67歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	年輪診療所、阪和泉北第2病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

同一法人の老人福祉施設と隣接しているため、連携や交流が図りやすく、非常に安心感があります。玄関前は季節の草花で彩られ、気軽に訪れやすい雰囲気となっており、ホーム内の家具や装飾も家庭的で温かみがあり、ゆったりとくつろげる空間となっていました。また、入居者の皆様も一様に落ち着いておられ、個々のペースで穏やかに生活を送ってられる姿が印象的でした。また、献立も入居者の希望が反映されたものとなっており、買物・調理といった一連の流れも、入居者と職員がともに行っておられます。職員の言葉掛けも優しくさりげないものであり、入居者や家族の安心感につながっているように思いました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価で示された事項についての改善が見られました(理念をより分かりやすく、入居者や職員への浸透が図りやすい内容に変更。職員がそれぞれの段階に応じて外部研修を受講できるような体制が整備されていました)。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>利用者それぞれの生活歴に応じた個別支援の更なる充実に取り組みようとしていました。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>外部評価の受審・行事・活動・委員からの意見聴取・近隣地域のグループホームの運営状況についての報告を行うなど、よりよきホームに発展させていくための前向きな話し合いや取り組みがなされていました。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族への連絡は、随時および定期的に行い、意見については、面会時や家族交流会などの場で積極的に聴取されていました。また、玄関前に意見箱を設置することで、さりげなく意向を伝えられるような配慮が見受けられました。なお、聴取した意見や意向は、出来る限り運営に反映させるなど、利用者本位の姿勢であることが確認できました。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の老人会や保育園行事、各種イベントなどに参加。また、隣接する老人福祉施設との交流や連携も盛んで、積極的に地域との関わりを持っておられました。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事業 所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての考えを取り入れ た明確な理念が掲げられていました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の内容を事業計画に組み入れ、日々の支 援に活かすなど、実践に向けた取り組みがな されていました。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地域 活動に参加し、地元の人々と交流するこ とに努めている	地域の老人会や保育園行事、系列施設の各種 行事に参加されるなど、地元の人々との交流 に努めておられることが、行事記録などから 確認できました。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及 び外部評価を実施する意義を理解し、評 価を活かして具体的な改善に取り組んで いる	評価の意義を十分理解し、評価で得られた気 づきを活かした改善に取り組まれていまし た。今回は、理念の浸透と職員の外部研修に 関する事項での改善が確認できました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	地域の自治会長や市職員、家族等の参加のもと、各種報告や話し合いが行われ、聴取した意見（地域の声や家族の要望など）をサービス向上に活かしておられることが、会議録などから確認できました。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	行き来する機会はありませんが、疑問や運営上困ったことがあれば、随時連絡をとっておられます。		行き来する機会の確保や連携強化の方法についてご検討ください。
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	暮らしぶり・金銭管理・職員の状況などについて、毎月文書で報告されています。また、面会時や電話等により、個々にあわせた報告も積極的にされています。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	玄関前に意見箱を設置されていました。また、年1回の家族交流会で意見の交換や聴取を行い、その結果を運営に反映させておられました。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	異動や離職は数年間見られませんが、もしも代わる場合には、利用者に配慮した職員配置を考えておられるとのことでした。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業計画に沿った内部研修が充実しており、また、外部研修にも随時参加できるよう、努めておられました。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に1回、地域のグループホームが集まり勉強会を開催し、サービスの質の向上に取り組んでおられます。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	安心・納得した上で入居できるよう、利用前に、半日もしくは1日の体験利用の機会を設けておられます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の意向や生活歴を踏まえ、できることは自身でしていただけるよう促し、利用者全員で支えあう関係を築いておられました。また、個々の得意な分野（家庭菜園・家事・書道・レクリエーション・カレンダー作り等）で喜怒哀楽が出せるような雰囲気作りも大切にされていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>献立や暮らし方に関する意向の把握に努めておられました。また、本人からの聴取が困難な場合には、家族の意見を反映させるなどの配慮が見受けられました。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員間で話し合った気づきやアイデアに加え、本人や家族の意見も積極的に聞き出し、それらを反映した介護計画の作成がなされていました。また、家族の同意を得ていることも書面にて確認できました。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回の見直しと更新がなされており、また変化が生じた場合には関係者全員で話し合い、新たな計画を随時作成されています。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>隣接する老人福祉施設の各種行事やクラブ活動に参加可能で、また法人が運営する診療所にも受診できるなど、多機能性を活かした柔軟な支援が行われていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の医師と相談しながら、本人及び家族の希望があれば、随時専門の医療機関で適切な医療を受けられる体制が整備されていました。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	協力医療機関の医師や家族等と相談できる場が設けられており、看取りに関するマニュアルも整備されていました。		
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いについて研修された記録が確認できました。また、プライバシーを損ねるような言葉かけや対応も見受けられませんでした。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日を自分らしく過ごすための選択肢（ホーム内のレク・隣接施設の行事やクラブ参加・買物・散歩など）が用意され、個々の希望にそった生活を送っておられる様子が、一日の見学を通して確認できました。また自立支援に向けた介助もなされていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の意向が毎日の献立に反映されており、食材の買い出し・準備や後片付け・食事なども利用者と職員がともに協力し合いながら行っておられました。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週のうち5日が入浴日となっており、利用者個々の希望に応じた入浴支援がなされていました。また、併設の老人福祉施設のお風呂を利用できるなど、よりいっそう入浴を楽しんでいただくための配慮も見られました。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	仏花の水替えやゴミ集め、食事の準備や後片付け、家庭菜園作りなど、一人ひとりの個性を活かした支援を行っておられました。		個々の生活歴や希望・アセスメント等に基づいた「役割、楽しみごと、気晴らしの機会」がさらに増えることを期待しております。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	畑や散歩に出かけたり、日常的には食材の購入のために外出されており、また、個々の希望に添えるような体制も整備されていました。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	家族からの強い要望により、やむなく鍵をかけておられました。ただし、上下2個のうち1箇所だけの施錠に留めるなどの配慮が見られました。		家族の理解あってのものですが、鍵をかけない工夫や方法についての模索・検討を期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>定期的に同一法人の老人福祉施設と合同で避難訓練を実施されています。また、火災に備え、夜間は浴槽に水を貯めておくなどの対策が見られました。</p>		<p>もしもの際に近隣住民の協力を得られるよう、日々の働きかけ（広報活動等）の更なる充実に期待しております。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>併設する老人福祉施設の管理栄養士から献立に対するアドバイスをすることで、栄養バランスの配慮に努めておられました。また、水分量を確保しやすいよう、個々に適した飲料（ポカリ等）の提供も見られました。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関を入ると廊下・居間へと自然な形で動線が作られ、また、大きく開放的な窓からは庭の緑が見渡せるなど、安心してくつろげる空間作りがなされていました。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた調度品がまとまりよく配置され、また、個々の身体状況を考え、ベッドの向きやトイレの扉などに配慮や工夫が見受けられました。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。